



「共助」の取組について

令和6年10月3日

都市防災部



直近の日本での災害

- **能登半島地震**の被災地で、**豪雨災害**が発生
 - ▶ **救助活動**のため緊急消防援助隊派遣
 - 避難所運営支援・給水活動**のため職員派遣



- 元日に発生した**能登半島地震**を受けて被災地への支援実施
 - ▶ 発災後のフェーズの変化に合わせ支援活動も変化

【発災日】～ **人命救助、医療活動、給水活動**
【約1か月後】～ **避難所運営支援**
【現在】～ **公費解体支援**



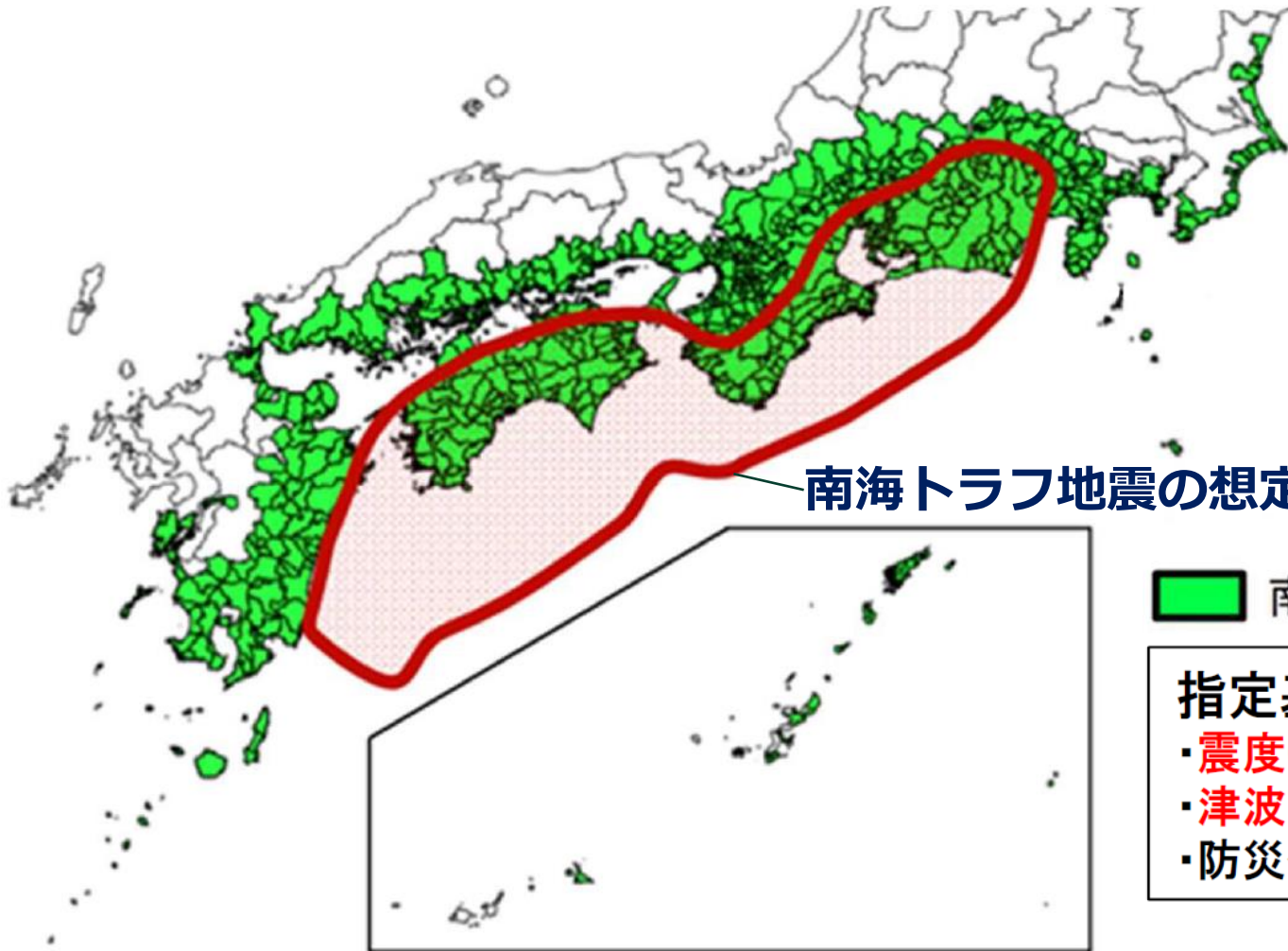
派遣職員 延べ411人

今後も復旧・復興に向けた
できる限りの**支援**を**継続**



■ 南海トラフ地震

▶ 今後30年以内に発生する確率70～80%



【8月8日～15日】

初の**南海トラフ地震臨時情報**
(巨大地震注意)発表

▶ 日頃から地震への備えの
再確認を呼びかけ

 南海トラフ地震防災対策推進地域

指定基準の概要

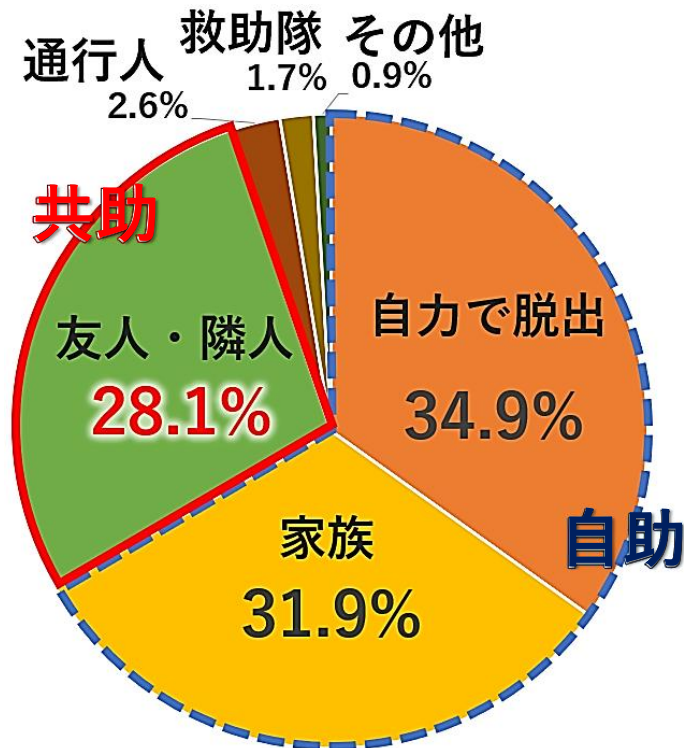
- ・**震度6以上**の地域
- ・**津波高3m以上**で海岸堤防が低い地域
- ・防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

災害時の自助・共助の大切さ



能登半島地震では**日頃のコミュニティ活動**が功を奏し**住民の命が救われた**
「互いに助け合い高台に避難」「迅速に安否確認を行い瓦礫に埋まった住民を救出」

阪神・淡路大震災における生き埋め等の救助主体について



過去の**災害**からも**自助・共助**の**重要性**は明らか

- ・自助の約6割のうち約半数は**家族**の助け
- ・共助は約3割を占める
→**友人・隣人**との**繋がり**が大切

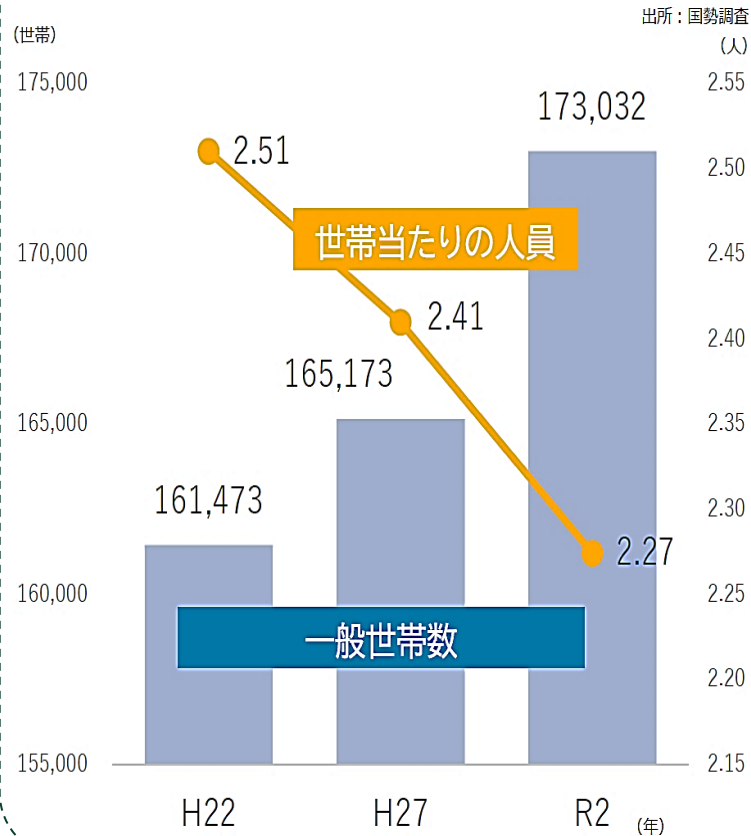
地域コミュニティの活動に参加し、**横のつながり**を作ることが大切

自治会加入世帯の低下



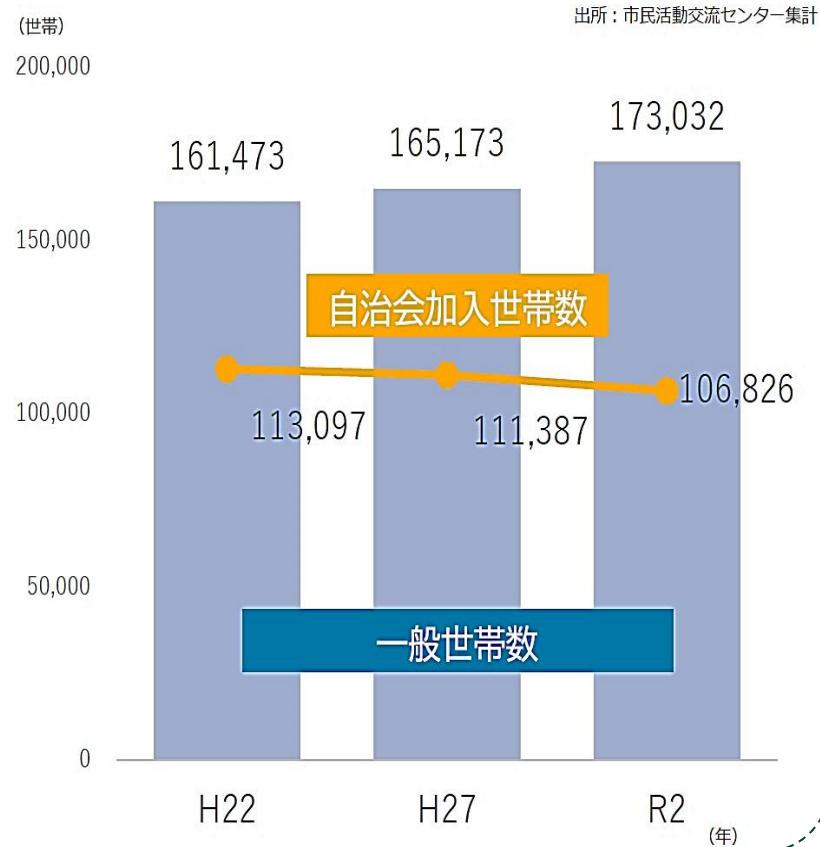
世帯数

世帯分離が進み、
家族構成がより小さく



自治会 加入 世帯数

総世帯数は増加している一方、
加入世帯数は年々減少



人間関係の希薄化、
地域活動の担い手不足、
地域を取り巻く課題が
複雑化・多様化



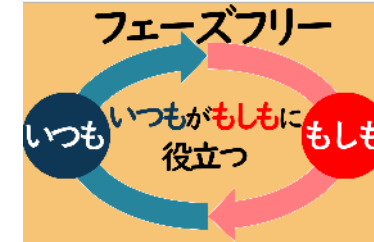
災害時の共助などに影響

■ 自助・共助・公助の主な取組



【自助】 日頃からの備え

- ・ フェーズフリーの考え方、ローリングストックによる**家庭備蓄**
- ・ **住宅の耐震化、家具固定** など



【共助】 お互いに協力し合い地域で守る

- ・ **自主防災活動、水防活動、消防活動** など



【公助】 能登半島地震を踏まえた防災体制の強化

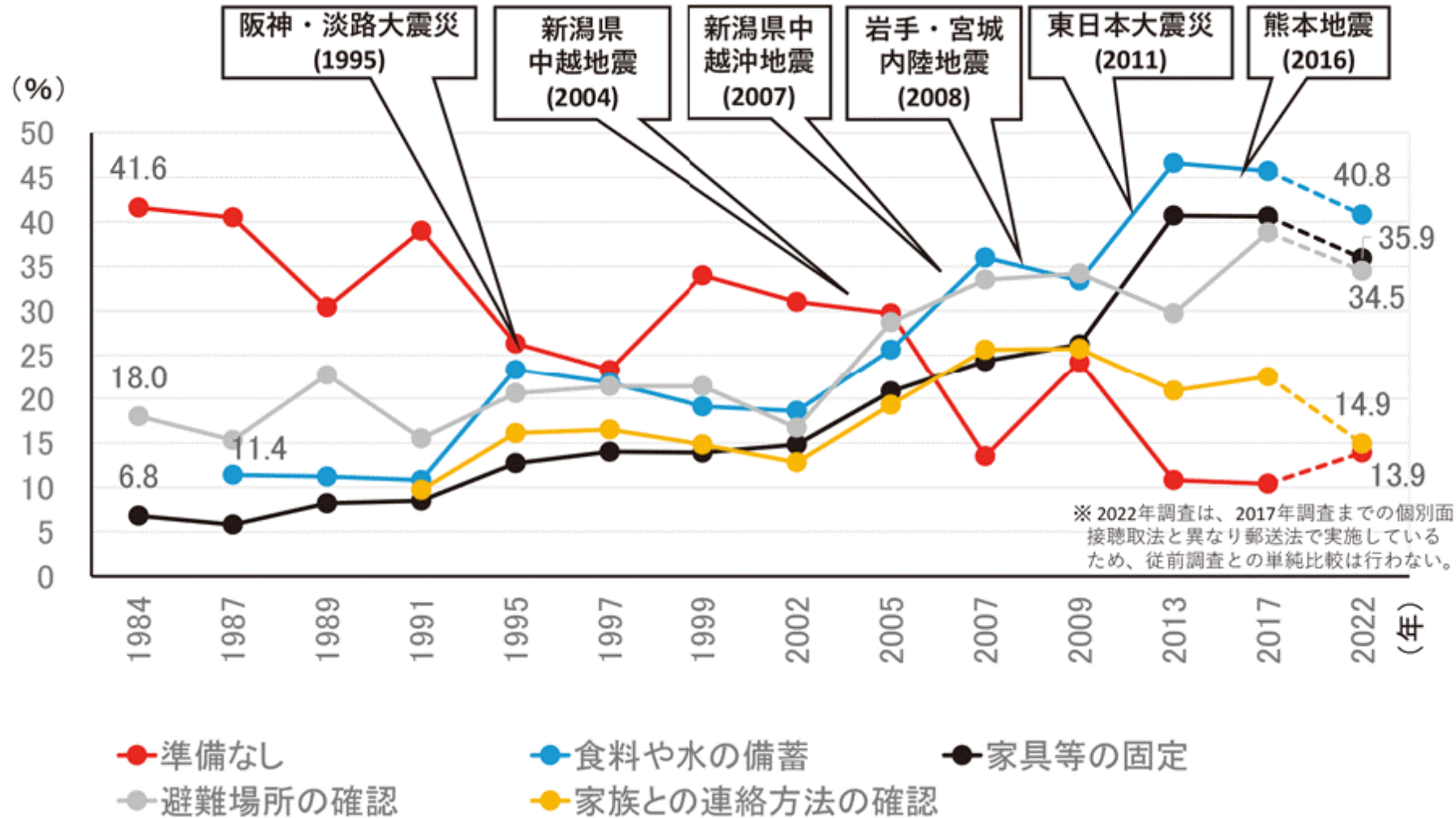
- ・ 「**地域防災計画**」などの**見直し**、**受援・支援体制の強化**、**避難所環境の改善**
- ・ 企業・団体や他都市との**災害時応援協定の推進**や**防災関係機関との連携強化** など



自助



国民の自助意識の現状



- ・ **自助の重要性の認識**は、大災害を経て着実に**浸透**
- ・ **熊本地震後**の調査では、**頭打ち**傾向

各地で発生した災害を**自分事**として捉え、自助の重要性を認識し、**災害に備える**

木造住宅無料耐震診断・家具固定器具設置普及促進事業の現状

(2024.9.27現在)



市民の地震対策への**意識の高まり**
助かる命を助けるため、
このタイミングで**集中**して**対策**することが必要

- 旧耐震基準木造住宅の無料耐震診断
件数拡大 80件 ➡ **320件**
- 岐阜市家具固定器具設置普及促進事業

対象者：避難行動要支援者
(高齢者・要介護認定者・障がい者 等)

令和5年度まで

家具固定の設置費用：無償

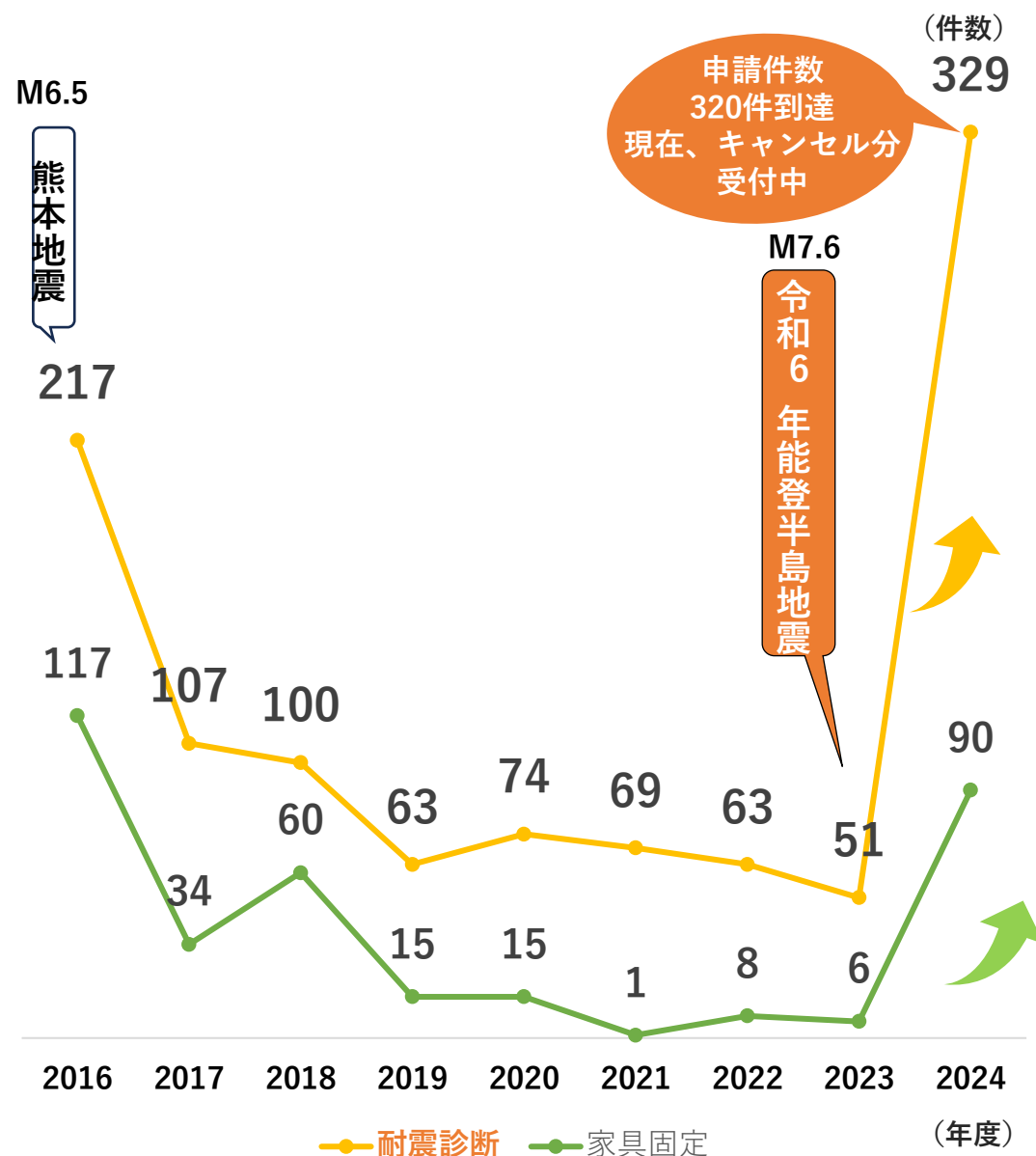
家具固定器具：自己負担(約1,300円/家具1点)



令和6年度から

家具固定の設置費用：無償

家具固定器具：**岐阜市が負担**





共助



■ 共助の中核を担う自主防災組織

市内50の**自治会連合会すべて**に**自主防災組織**が結成

▶ **災害時の避難所運営**など**様々な場面**で**地域を支える**

自治会に**加入**する事で**災害時**に**自分**や**家族**、
地域を**守る**ことに繋がる

自主防災活動（見守り助け合い、地域防災訓練、避難支援 など）

防災士育成



地域防災訓練



➡ **災害時の助け合いへ**

地域コミュニティの中核を担う自治会



- ▶ **日頃からの地域の絆**を深める様々な活動
顔の見える関係づくりから地域の見守りへ
多様な一人一人が、やりがいを感じ楽しみ、取り組む環境

夏祭り



運動会



いきいきサロン



文化祭



地域清掃



見守り隊



防犯パトロール



安否確認





地域 コミュニティ

■ 地域社会のつながり



かつての地域社会

親密な人間関係を形成 「向こう三軒両隣」

住民の意識の変化

変化の要因

少子高齢化の進展

核家族化・単身世帯の増加

生活様式の多様化

現在の地域社会

地域とのつながり、結びつきの希薄化

「隣は何をする人ぞ」

課 題

地域防災力の**低下**のおそれ

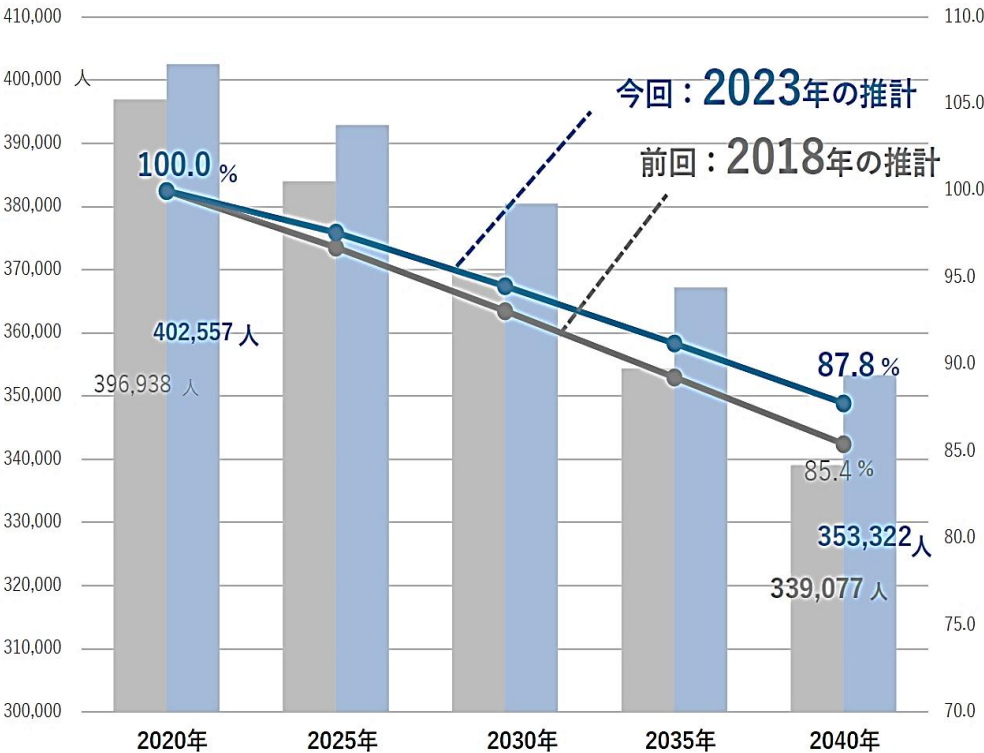
地域社会のつながり・結びつきの必要性を再認識



社会動態の改善

- 社会動態の改善で子育て世代の減少幅が緩やかに
「こどもファースト」を中心とした様々な施策の取組の成果

岐阜市の人口推計結果の改善
2018年時の推計と2023年時の推計の比較



2040年には約35.3万人になると推計
前回推計と比べ約1.4万人の改善

直近2回推計時における
2040年の人口推計増減率

5歳階級別	2018年推計	2023年推計	増減率
15～19歳	13,246	13,017	-1.7%
20～24歳	15,430	15,563	0.9%
25～29歳	15,209	16,124	6.0%
30～34歳	16,418	17,398	6.0%
35～39歳	17,837	19,181	7.5%
40～44歳	19,219	20,409	6.2%
45～49歳	18,391	18,972	3.2%
50～54歳	19,180	19,904	3.8%
55～59歳	21,062	21,827	3.6%
60～64歳	24,703	25,197	2.0%
15～64歳	180,695	187,592	3.8%

生産年齢人口の
25～44歳の増減率が
6%以上改善



若者の地域活動への
参加が地域防災力の
向上にも繋がる

■ 災害に強い持続可能な地域コミュニティの実現へ



▶自治会加入促進の取組み

- ・ 地域の働きかけ
- ・ 市長自ら自治会加入を呼びかける動画の放映 など
＜負担軽減策＞
- ・ 担い手不足対策
R2～地域担当職員、R6～地域支援職員(専従) 配置
- ・ 地域活動へのD X 導入
タブレット端末を配布し情報伝達の迅速化・容易化



**地域防災力の
強化・向上**